

べふ峡温泉等再生・運営事業者公募案へのパブリックコメントについての意見に対する回答

募集期間：令和8年4月1日～24日

いただいたご意見につきましては、趣旨を損なわない範囲で一部省略、誤字訂正、追記、要約または分割している場合があります。

No.	意見	回答
	別府峡キャンプ場、農林漁業体験実習館、べふ峡休憩所、べふ峡温泉全てを一団体等に公募を掛けるものなのか。	お見込みのとおりです。
	この4つの中で優先順位をつけて運営若しくは廃業ではダメなのでしょうか。	優先順位として、べふ峡温泉、べふ峡休憩所が高くなります。別府峡キャンプ場、農林漁業体験実習館の2施設については、近隣にある資源として、運営事業者を選択してもらうものです。
	別府峡キャンプ場は、駐車場からバンガローまで距離がある。荷物を持っては不便利。今現在のニーズ（キャンピングカーが主流では？）に合致しない。※運営するのであれば、コテージの横まで車で行けるように改良すべきと考えます。	募集要項案11P7（4）にあるとおり、別府峡キャンプ場活用の提案が採用された場合、別府峡キャンプ場入口の橋を普通自動車の乗り入れ可能な橋への架け替えに要する費用を市が負担します。

No.1

農林漁業体験実習館を市（行政）は、どうやって運営させたい？また、運営に当たっての利便性は？個人的には、いらないと思います。中の資料等々は、「高知県立歴史資料館」等へ寄贈したらどうか？旧大栃高校に移設するとか？旧大栃高校を宿泊施設等々にリニューアル（体育館は使用できるの？）して一般宿泊や合宿施設等々として運営したらどうでしょう？この様な取り組みをやった市町村どこかにあった様な？

農林漁業体験実習館については、サウンディング調査の結果、同施設の主に農産物加工室の活用を希望する事業者があり、今回公募の範囲に加えたものです。民族資料室の運営も検討できるとのことでした。農林漁業体験実習館については、募集要項案10P5、11P6（4）（5）にあるとおり、現在、避難所や集会所として利用されており、今後も避難所としての機能は維持していただいた上で、貸館業務を行っていただくように条件を付与しています。

旧大栃高校の宿泊施設としての活用については、旧大栃高校が市の施設ではなく、現在様々な利用がされており、今回の公募に間に合わすことは難しく、今後の参考とさせていただきます。

べふ峡休憩所、べふ峡温泉は、それぞれ独立した団体等にしっかり運営してもらう方式ではダメなのか？特にべふ峡温泉は、資金的にも有力で有名な企業等にアクションを掛けてみるとか？とにかく自分たちも足で稼いで情報を取らないと？待ってても手を挙げる団体、企業は現れないと思います。

応募がなかった場合、検討したい思います。自治体遊休施設のマッチングサイトなどを活用し、発信に努めています。

	<p>べふ峡休憩所とべふ峡温泉に的を絞って公募を見直し、募集した方が良いのではないか？</p>	<p>今回、応募がなかった場合、検討したいと思います。</p>
<p>No.2</p>	<p>従来型運営の前提が残っている点 紅葉時期における温泉営業および飲食提供が必須とされていますが、事業者によっては、飲食や日帰り入浴を主軸としないビジネスモデルの方が適している可能性があります。</p>	<p>市で検討した結果、べふ峡温泉に必要な機能として、11月の日帰り温泉、レストランの営業が必須となりました。</p>
	<p>通年運営の困難性 立地条件を踏まえると、年間を通じた安定集客は難しく、季節特化型の運営（繁忙期集中）が現実的と考えられます。</p>	<p>11月の日帰り温泉、レストランの営業等を必須としています。</p>
	<p>別府峡キャンプ場は、調査において厳しい評価がされているにも関わらず、活用前提での募集となっている点については、事業者にとって判断を難しくする要因となり得ます。</p>	<p>別府峡キャンプ場の運営は必須ではありません。また、必ずしもキャンプ場として運営を求めるものでもありません。</p>
	<p>事業者からは、大浴場等のインフラ部分について市の対応を求める意見が出ていることから、「どこまで市が整備し、どこからが事業者負担か」をより明確にすることで、応募検討のハードルが下がると考えます。</p>	<p>本市の費用負担については、募集要項案11P7のとおりです。</p>

	<p>本公募は、条件緩和など前向きな改善が見られる一方で、なお従来型運営の前提が一部残っている印象があります。事業者の参入を実現するためには、「自由度の高いコンセプト提案型事業」としての位置付けをさらに明確にし、柔軟な運用を可能とする制度設計が必要と考えます。</p>	<p>市で検討した結果、べふ峡温泉に必要な機能として、11月の日帰り温泉、レストランの営業が必須となりました。</p>
	<p>農林漁業体験実習館の農産物加工室を希望し、民俗資料展示室の民具についても活用したいという事業者がいたというが、どのような団体か、どなたが？⇒調理施設を是非使いたい及び民具についてもこのまま活用したい？←メリットは？</p> <p>●民具は、どの様に活用するの？</p>	<p>事業者名はお答えできません。活用方法については、公募の際に、応募事業者から提案をいただきます。</p>
<p>No.3</p>	<p>農林漁業体験実習館を運営するにあたりどのような様なメリット及びデメリットがあるか？</p>	<p>貸館業務のみ引き受けてもらえるなら、現状と比べデメリットはないと思われます。</p> <p>農産物加工室を提案される事業に使用する場合、他の方は使用できなくなることが予測されます。</p> <p>現状では、貸館業務は行われておらず、地域の方も使用しておりません。</p> <p>体験実習館が避難所となった場合、炊き出しなどの調理の場として使用する場合、事業者と協議が必要となります。</p>

No.4	<p>1. 多角的な収益モデルの評価について</p> <p>宿泊収益のみに依存する従来型の運営ではなく、物販・体験・地域産品活用などを組み合わせた多角的な収益構造を評価対象として明確に位置付けることが重要であると考えます。</p> <p>これにより、安定的かつ持続可能な運営体制の構築が期待されます。</p>	<p>募集要項案21P表9「第二次審査基準」にあるとおり、地域資源や地場産品の活用も評価の対象となっています。</p>
	<p>2. 段階的な事業推進（フェーズ設計）の容認について</p> <p>中山間地域における施設再生においては、初期投資を抑えつつ段階的に事業を拡張していく手法が現実的であり、リスク低減の観点からも有効です。</p> <p>そのため、短期的な完成形だけでなく、中長期的な成長プロセスを含めた提案を評価する仕組みの導入を希望します。</p>	<p>募集要項案20P表8「第一次審査基準」、募集要項案21P表9「第二次審査基準」の範囲内です。</p>
	<p>3. 地域資源を活かした循環型モデルの評価について</p> <p>地域の農業、文化、自然資源などを活用し、地域内で経済が循環する仕組みは、持続可能な地域づくりの観点から極めて重要です。</p> <p>地元事業者や生産者との連携、地域資源の活用度合いについても評価項目として明確化することを提案いたします。</p>	<p>募集要項案21P表9「第二次審査基準」にあるとおり、地域資源や地場産品の活用も評価の対象となっています。</p>

<p>4. 関係人口および滞在価値創出の視点について</p> <p>本施設の再生においては、単なる来訪者数の増加ではなく、滞在時間の延伸やリピーターの創出、さらには関係人口の形成が重要であると考えます。</p> <p>そのため、長期的な顧客関係構築や滞在型コンテンツの充実に関する提案を評価する視点を取り入れていただきたいと考えます。</p>	<p>募集要項案21P表9「第二次審査基準」にあるとおり、確実に来訪者を増やす工夫があることや、地域住民と来訪者との新たな交流が生まれる工夫があることも評価の対象となっています。</p>	
<p>5. 地域連携および人材確保の評価について</p> <p>持続的な施設運営には、地域との良好な関係構築と人材確保が不可欠です。</p> <p>地域住民との協働体制や、観光・サービス人材の育成・確保に関する取り組みについても、評価の対象として重視されることを期待いたします。</p>	<p>地域住民との協働体制については、募集要項案21P表9「第二次審査基準」にあるとおり、人材確保については、募集要項案20P表8「第一次審査基準」にあるとおり、評価の対象となっています。</p>	
<p>No.5</p>	<p>付加価値をつける改修について、一定の範囲で市も費用を支援してはどうか。11月期以外も温泉等を開設してもらえるように、他月についても重油代を費用支援をしてはどうか。</p> <p>その場合はたとえば、金土日の週末のみの営業でも支援するように明記すれば、多少参入のハードルがさがらと思う。</p>	<p>市には、大きな設備投資をする財政的余力がありません。11月以外の月は採算が取れるように運営して頂けたらと思います。</p>

